

群馬県社会福祉総合センター事業報告

1. 事業概要

県民が心豊かで健やかに暮らせる福祉社会の実現に寄与する拠点となる施設として、下記の事業を実施した。

- (1) センターの施設及び付属設備の維持管理
- (2) センターの有料施設等（会議室・付属設備他）の使用の承認及び取り消し等に関する業務
- (3) 福祉用具・住宅モデルルーム展示場に関する業務
- (4) 入居団体等の連絡調整

2. 運営業務の受託

契 約 平成 9 年 1 2 月 1 日

開 設 平成 1 0 年 2 月 1 0 日（指定管理受託 初回平成 1 8 年 4 月 1 日）

第 6 期指定管理期間 令和 4 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日（5 年間）

3. 施設の所在地

前橋市新前橋町 1 3 番地の 1 2

4. 建物の構造及び状況

鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

地下 2 階 地上 9 階建

延 面 積 1 4 , 6 5 5 . 8 5 m²

5. 職員の状況

令和 8 年 3 月 3 1 日現在(人)

職種		館長 (理事長)	副館長 (事務局長)	庶務課長 (事務局次長)	主事	計
職員数	1・2種・再雇用(常勤)	(1)	(1)	(1)	1	1
	3・4種・再雇用(非常勤)				2(1)	2
	臨時				4	4
	計	(1)	(1)	(1)	7(1)	7

※ () 内は兼務者

※上記他、ビルメンテナンス協同組合より、設備主任 1 名出向

6. 事業実績

(1) 会議室・付属設備の使用状況

会議室	区分	利 用 件 数				計 (件)	利用日数 (日)	利用率 (%)	使用料額 (円)
		午前	午後	夜間	計				
B01	福祉	188	221	74	483	491	241	69.86	534,990
	一般	3	5	0	8				
101	福祉	231	243	124	598	598	252	73.04	580
	一般	0	0	0	0				
201	福祉	172	208	227	607	643	313	90.72	479,850
	一般	14	16	6	36				
202	福祉	162	197	74	433	475	264	76.52	381,130
	一般	12	21	9	42				
203A	福祉	202	249	105	556	571	270	78.26	524,470
	一般	4	7	4	15				
203B	福祉	217	240	65	522	551	263	76.23	478,620
	一般	9	8	12	29				
301	福祉	161	215	34	410	424	245	71.01	245,390
	一般	3	8	3	14				
501	福祉	185	235	175	595	610	311	90.14	524,740
	一般	6	7	2	15				
502	福祉	70	100	7	177	290	174	50.43	346,230
	一般	30	33	50	113				
701	福祉	202	232	52	486	502	266	77.10	619,850
	一般	7	7	2	16				
特別	福祉	76	129	18	223	238	149	43.19	266,220
	一般	5	10	0	15				
体育	福祉	66	74	17	157	218	137	39.71	290,940
	一般	8	11	42	61				
ホール	福祉	96	111	26	233	299	151	43.77	1,319,850
	一般	25	26	15	66				
付帯設備									661,540
計	福祉	2,028	2,454	998	5,480	5,910	3,036	67.69	6,674,400
	一般	126	159	145	430				

※利用率は〔利用日数／利用可能総日数(345)〕

(注) 休館日 毎月第1日曜日、12月29日～1月3日

臨時休館日 8月2日、1月31日

(2) 貸室等の状況（共益費の状況）

- ア. 入居団体等 入居している福祉関係団体 20団体
館内に所在する公の施設等 6施設
館内に所在する県機関等 2施設
- イ. 貸室料 無 料（鍼灸マッサージ師会のみ有料）

ウ. 共益費負担について

各入居団体は利用面積に応じ、算出した額を共益費として負担する。

$$\text{センターで使用する1ヶ月分の電気・ガス・水道代} \times \frac{\text{各団体使用許可面積}}{\text{センター総面積}} = \text{負担額}$$

団体名	使用許可面積	共益費負担額
群馬県視覚障害者福祉協会	47.87m ²	133,340
群馬県身体障害者福祉団体連合会	54.33m ²	151,340
群馬県聴覚障害者連盟	42.29m ²	117,790
群馬県社会福祉協議会	562.74m ²	1,568,130
群馬県共同募金会	63.2m ²	176,060
群馬県老人福祉施設協議会	37.76m ²	105,160
鍼灸マッサージ師会	16.00m ²	44,520
群馬県難病団体連絡協議会	35.52m ²	98,930
群馬県長寿社会づくり財団	239.62m ²	667,700
群馬県老人クラブ連合会	65.6m ²	182,750
群馬県遺族の会	51.1m ²	142,340
群馬県拓友協会	36.85m ²	102,610
群馬県社会就労センター協議会	36.85m ²	102,610
群馬県知的障害者福祉協会	57.6m ²	160,460
群馬県母子寡婦福祉協議会	126.18m ²	351,570
群馬県社会福祉士会	70.00m ²	195,020
群馬県精神障害者社会復帰協議会	33.59m ²	93,550
群馬県地域密着型サービス連絡協議会	41.81m ²	116,450
群馬県精神障害者家族会連合会	20.79m ²	57,880
認知症の人と家族の会	18.44m ²	51,320
計	1658.14m ²	4,619,530

(3) 福祉用具・住宅モデルルーム展示場の管理運営状況

ア. 来場実績

区分	団体（延べ）			一般	総計
	学生	一般	計		（見学者含む）
来場者人数	114	441	555	3,307	3,862

イ. 相談情報提供内容

区分	件数	区分	件数
褥瘡予防関連用品・ベッド	406	生活自助具	530
移動・移乗用具	216	住宅改造用機器	267
車椅子関連	878	視聴覚関連機器	221
入浴用具	244	介護予防関連	145
歩行補助具	653	防災	90
排泄用品	138	その他（制度相談等）	1,569
衣類	177	計	5,534

（４）入居団体等の連絡調整他

ア. 館内連絡会議の開催

令和７年４月１４日、令和７年６月１７日、令和７年１１月１０日

イ. 防災訓練の実施

令和７年 ６月２３日（消火訓練、消防設備説明）

令和７年１１月１７日（総合訓練、避難、通報訓練）

７. 指定管理の業務の成果目標と取組結果

場所	内容	成果目標	取組結果
会議室	利用稼働率	65%以上	67.69%
	福祉団体利用件数	5,000件以上	5,480件
福祉用具・住宅モデルルーム展示場	来場者数	3,000件以上	3,862件

８. 令和７年度実施状況

（１）施設及び付属設備の維持管理の状況

ア. 大規模修繕

スプリンクラー設備圧力タンク交換工事、１Ｆ玄関自動ドア装置更新工事、警備システム更新工事、１Ｆエントランス系統外調機モーター整備工事、イナージェンガス３５個交換工事、自動火災報知設備交換工事等、Ｃ階段非常照明交換工事、７Ｆ多目的トイレ自動ドア装置交換工事、Ｂ１点字ブロック設置工事

イ. 小規模修繕

正面自動ドア及び５Ｆ多目的トイレ自動ドア部品交換工事、熱交換器洗浄及びファンコイルコントローラー交換工事、バコティンヒーター（１号機）修繕工事、４Ｆ、５Ｆ女子トイレ手洗い排水解消工事、自動火災報知設備及び防排煙制御設備修繕、８Ｆホール舞台袖操作スイッチ修繕、Ｂ２非常用発電設備フィルター交換工事、Ｂ２非常用発電設備水温計及び水温センサー交換工事

（２）会議室・付属設備他の貸出業務の状況

ア. 正面入口と１階エレベーター前にデジタルサイネージを設置し、当日の会議室情報と館内の

イベント情報の広報を行った。さらに、1階非常用エレベーターにも当日の会議室情報を掲載し、正面出入口・裏側出入口どちらからでも情報が確認できるよう対応した。

イ. エレベーター内に各階の多目的トイレの情報を掲示した。

ウ. エレベーター前に平面図による非常用階段の位置を掲示することで、安全性の向上を図った。

エ. 利用者アンケートや評価委員会の意見を取り入れセンターの運営に反映させた。

オ. 令和6年度にロービジョンの方と照度検証を行い、意見をもとに使用頻度の高い1階トイレと3階トイレの電球をLEDへ変更した。エレベーター前及びトイレについては都度、LEDへ変更を行った。

カ. 令和6年5月から旧喫茶コーナー(1階ロビー)を展示スペースとして貸出を開始した。令和7年度利用した団体は、精神障害者家族会連合会1回、聴覚障害者連盟2回であった。展示会だけではなく、デフリンピック視聴会場として貸出を行った。

キ. 令和6年度から新たな利用方法での貸出として7階体育室を展示スペースとして貸出を行った。(令和7年度は一般社団法人メノキ『猫と上毛かるたでつながる展』の開催があった。)

(3) 福祉用具・住宅モデルルーム展示場運営の状況

ア. 1階エレベーター前にデジタルサイネージを設置し、新商品の紹介等を行い、来場者数の増加や情報提供に努めた。

イ. 県立リハビリテーションセンターの協力で、専門職による福祉用具を使用した効果について掲示し、福祉用具の普及に努めた。

ウ. 福祉用具の周知とモデルルーム展示場の利用促進のため関係団体と連携した展示会や出張展示を行った。

イベント名	開催日	場所	連携先等	参加人数
まゆだまネット	令和7年9月6日	社会福祉総合センター	点字図書館	104人
前橋市福祉大会出張展示	令和7年11月29日	K' BIXまえばし福祉会館	前橋市社会福祉協議会	43人
令和7年度 障害者ワークフェスタ	令和7年12月6日	境赤レンガ倉庫	伊勢崎市手をつなぐ育成会	99人
あったかぐんまハートバザール	令和7年12月17日 令和7年12月18日	けやきウォーク前橋	社会就労センター協議会	147人
福祉の仕事ガイダンス 介護技術・福祉用具編	令和8年3月19日	社会福祉総合センター	マンパワーセンター、 株式会社リブドウコーポレーション	12人

エ. 前橋市社会福祉協議会と共催で、授業の一環として高校生に福祉用具・モデルルームの見学会及び車椅子体験会を開催した。

(4) 経費節減に対する取り組み

電気料、ガス代が高騰する中、使用量を節減し、経費削減に努めた。